



# 新ゴリラ日記



vol.18

2018年10月

## \* 努力が実りません… \*

そろそろ木々の葉が落ちる季節になってきました…今年も春から夏にかけて、グラウンドに下草を生やすことを一生懸命頑張ってきました。芝生の種を植えたり、踏みつけに強いと言われているヒメイワダレソウ、湿度に強いダイカンドラ、他にもミントなど、ゴリラ舎のグラウンドで育ちやすい草を色々と調べて、毎日少しずつ土を運び、種やシートを植えていました。はじめのうちは芽が出てきて、緑化したように見えたのですが、どの植物も、しばらくするとなぜか大部分は自然消滅してしまいました(´;ω;`)少し前には、芝生のシートを植え、ゴリラたちにめくられないように、竹で作った杭で止めていたのですが、翌日、あっという間にテンションの上がったゲンタロウに剥がされました…さらに、ゲンキが暇つぶしにシートを引き裂いて、とどめを刺してくれました(^^;



↑ 生えてきていた芝。この後みるみる消えていきました…(>\_<)

最近、以前は触っていなかった、大きめの木の枝も折り始めたゴリラたち。まだまだ「樹林のすみか」への道のりは遠くですが、めげずに緑化をコツコツと続けようと思います。まずは、質があまりよくないであろうグラウンドの土に、肥料を撒くことを検討中です(\*^-^\*)



↑ 芝生のシートの上を歩くゲンタロウ。この時は入ルーでしたが、剥がす楽しさに気づいたようです…

## \* いいなあ顔 \*

ゴリラたち、特にゲンキやゲントロウは、他の個体が餌を食べているときに、うらやましきうに近くから食べている様子をジ〜ッと見ます。相手がおいしいものを食べているときのことが多いですが、時には、大して魅力を感じていないような餌でも、見ていることがあります。特にゲントロウとゲンキが、お互いに、どちらかが食べているのを見ているときは、これでもか！というくらい、顔を相手の顔に至近距離まで近づけて見えています（笑）

先日、ハロウィンカボチャをプレゼントしたときは、味はイマイチだったようでゲンキとゲントロウは、小さめのカボチャをほったらかしにしたくせに、特大カボチャにかぶりつくモモタロウを両サイドからうらやましげに見つめていました。残念ながら、どんなに見つめても、分けてもらえることはありません（^^;）



ハロウィンカボチャを食べるモモタロウを見つめる、ゲンキの「いいなあ顔」。

## ～今回の一枚～

「まだまだかわいい!？」

先日、保育園の子どもたちが、ハンモックにおさまって餌を食べているゲントロウを見て、「あ〜赤ちゃんだよ」と言っているのを目撃しました（^^;）君たちより年上だよ〜、と心の中で思いつつ、12月には7歳、そしてお兄ちゃんになるゲントロウですが、可愛らしさはまだまだ健在だと実感しました（\*^-^\*）

